

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	シームレスな健康情報活用基盤実証事業		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～		担当課室	研究開発振興課 医療技術情報推進室		室長：渡辺顕一郎	
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-3-1 医療情報化の体制整備の普及を推進すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成18年1月：IT新改革戦略 平成19年3月：医療・健康・介護・福祉分野の情報化グランドデザイン 平成20年8月：重点計画2008 平成21年4月：デジタル新時代に向けた新たな戦略～三カ年緊急プラン～ 平成21年7月：i-japan戦略2015 平成22年5月：新たな情報通信技術戦略			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	電子化される健康情報の高度利活用を図るため、医療・健診等におけるデータの相互利用をはじめとする情報共有のための方策や、個人の健康情報を有効に活用するための方策等の実証に取り組む。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地域医療支援病院等を中心として病院から診療所、調剤薬局まで様々な施設間でのシームレスなデータ共有を行い、患者情報を共有しながら病態に応じた各施設の役割を分担し、二次医療圏を超えた地域連携体制を構築する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位：百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	/	173	150	90	90
		補正予算	/	/	/	/	/
		繰越し等	/	/	/	/	/
	計	/	173	150	90	90	
	執行額	/	163	148	/	/	
執行率(%)	/	94.2%	98.7%	/	/		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	医療データ等の相互利用をはじめとする情報共有のための方策や、個人の健康情報を有効に活用するための実証を行う。			成果実績	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	事業実績報告書の作成			活動実績(当初見込み)	-	1	1
				件	(1)	(1)	(-)
単位当たりコスト	148百万(円/事業実績報告書)		算出根拠	平成24年度のシームレスな健康情報活用基盤実証事業の執行額：148百万円			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	実証事業費	90	90	-			
	計	90	90				

事業所管部局による点検						
	項目	評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	「新たな情報通信技術戦略」等で実施が掲げられており、ニーズが高い事業であり、国費を投入する必要のある事業である。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	標準的な情報提供形態等を検討するための実証事業であり、「新たな情報通信技術戦略」等においても国での実施が掲げられている。			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	「新たな情報通信技術戦略」等で実施が掲げられており、優先度の高い事業である。			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	企画競争入札を行い競争性の確保を図っている。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	医療・健診等におけるデータの情報共有の方策や、個人の健康情報を有効に活用するための実証に取り組み、その成果を広く国民へ提供するものであり、全額国費で負担することは妥当である。			
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○	企画書審査委員会等において、コストについても削減に努めた。			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	事業の実施に必要な支出を行うにあたり実情を勘案し支出を行っている。			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	必要最小限の費用のみ予算要求している。			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	患者情報を共有しながら地域連携体制を構築する事業であり、国費で実施することが効果的である。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	概ね当初見込みどおりの活動実績となっている。			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	実証で得られた成果は、地域診療情報連携推進費補助金に活用され、複数の病院、診療所、薬局等での情報連携が開始されている。			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-			
	事業番号	類似事業名				所管府省・部局名
	-	-				-
点検結果	平成24年度は、医療データ等の相互利用をはじめとする情報共有のための方策や、個人の健康情報を有効に活用するための実証事業を行った。平成25年度については、平成24年度の成果を踏まえ、医療圏を超えた地域連携体制を構築していく。					
	外部有識者の所見					
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	シームレスな健康情報活用基盤実証事業については、様々な施設間でシームレスなデータ共有を行い、患者情報を共有しながら病態に応じた各施設の役割を分担することを目的とする事業であり、事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年	-	平成23年	新23-0007	平成24年	853	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省  
148百万円

【企画競争】

A.(株)電算  
148百万円

シームレスな地域連携医療の実現に向けて各種検討を行う。

【随意契約】

B.三菱電機インフォメーション  
システムズ(株)  
25百万円

情報連携基盤アプリケーション  
の開発等。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 においてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.(株)電算			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	職員賃金	53			
委託費	情報連携基盤・アプリケーション開発	25			
雑役務費	システム利用諸経費	23			
借料及び損料	賃借料など	17			
旅費	委員等旅費	12			
その他	消耗品費、諸謝金など	10			
消費税	消費税	7			
計		147	計		0
B.三菱電機インフォメーションシステムズ(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	情報連携基盤・アプリケーション開発	25			
計		25	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)電算	シームレスな地域連携医療に向けた実証事業など	148	随意契約	

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱電機インフォメーションシステムズ(株)	情報連携基盤アプリケーションの開発	25	随意契約	